

平成17年度 神戸大学技術職員研修(集合研修) 日程表

平成17年8月～平成18年2月 総合テーマ：教育・研究の基礎技術—ものを操る—

◆ 全体研修		10:00	10:45	11:00	12:15	13:00	14:00	14:15	15:15	15:30	17:15
9月16日(金)	9:00～ 受付 9:45～ 開講式	「講話」 理事・事務局長 坂本 邦夫	休 憩	講演1 「職場の安全衛生」 産業医/保健管理センター所長 馬場 久光	休 憩	講演2 「生物の進化に学ぶ プログラミング技 法」 工学部・助教 田川 聖治	休 憩	「講演3」 「植物に寄生する 植物の生存戦略」 農学部・教授 杉本 幸裕	休 憩	[技術発表] 医/海/工/食資セ/ 環境セ	
◆ 分野別研修											
8月12日(金)	コース① 農学分野 「梨の新品種育成成法の実験」 (実習・見学) 鳥取大学農学部 (鳥取県鳥取市)										
9月20日(火)	コース② 医学分野 「基礎解剖学～骨学を学ぶ～」 山本技術員 (医学部)										
	コース③ 農学分野 「和牛仔牛の育成技術、肥育の基礎技術」 (実習・施設見学) 北部技術センター/全農肥育牧場 (兵庫県須磨市、豊岡市)										
	コース④ 海学分野 「ものを操る—ナビゲーションと操船—(1)」 河口教授、白井助教、井川・荻岡・原野技術専門職員、黒木技術員 (海工科学部)										
9月21日(水)	コース⑤ 医学分野 「法医解剖補助と諸検査の実験」 中川技術専門職員 (医学部)										
	コース⑥ 機械分野 「機械系CAD実習(1)」 造船技術専門員・大槻教務職員 (工学部)										
	コース⑦ 電気分野 「電力コントローラの製作」 伊地知・柴田技術専門職員 (工学部)										
	コース⑧ 理学分野 「操船の基礎知識と操船技術」 牛原技術専門職員、中野技術補佐員 (内海城環境教育研究センター)										
9月22日(木)	コース⑨ 医学分野 「神戸市における救急医療の現状」 (見学) 神戸市消防管区室/中央区消防署/人と防災未来センター	移 動	15:30								開 講 式
	コース⑩ 電気分野 「10進1桁加算回路の製作」 山中技術専門職員・高木教務職員 (工学部)										
	コース④ 海学分野 「ものを操る—ナビゲーションと操船—(2)」 (施設見学) 港湾職業能力開発短期大学校/海技大学校										
	コース⑥ 機械分野 「機械系CAD実習(2)」 造船技術専門員・大槻教務職員 (工学部)										
2月の1日	コース⑪ 農学分野 「センターの酒米を使用した酒造りについて」 (実習・施設見学) 豊久館株式会社 (加西市)										
2月 下旬	コース⑫ 農学分野 「食資源教育研究センター集合研修」 (講演、学外研修報告、技術発表、全体討論) (食資源教育研究センター)										

- (注) 1) 9月16日の受講は必修とします 2) 分野別研修は各コースから2日分を選択してください 3) コース⑩⑫は2日間コースです
4) 9月22日までに3日間受講が終了した者もグループ討論・開講式は参加できます 6) コース等の内容は変更することもあります

平成17年度神戸大学技術職員研修・分野別研修専門講義等概要

コース番号、分野名、『テーマ』 集合場所／実施場所（参加人数）	内 容 の 概 要 【 担 当 講 師 】
①農学分野（実習・見学） 『梨の新品種育成法の実際』 (3名)	鳥取大学農学部において、梨の新品種育成法について、実習・見学を行う。
②医学分野『基礎解剖学～骨学を学ぶ～』 医学部基礎南棟1階（第3実習室）／同左 (5名)	身体の主柱として機能する骨には、たくさんの形や種類があり、それらが美しく組み合わさることにより人体の骨組みとしての機能を果たしています。今回の研修では、骨学の基礎を学び、実際に骨標本を観察することで、人体の構造と機能への理解を深めて頂きたいと思います。 【医学部神経発生学 山本 達朗 技術員】 ・白衣と筆記用具を持参してください。
③農学分野（実習・施設見学） 『和牛仔牛の育成技術、肥育の基礎技術』 (5名)	兵庫県朝来市北部技術センター及び豊岡市全農肥育牧場において、和牛仔牛の育成技術、肥育の基礎技術の実習・施設見学を行う。
④海事分野『ものを操る－ナビゲーションと操船－(1)』 (14名) (午前) 「ものを操る－目でみる操船の世界－」 海事科学部総合学術交流棟1階SCS室／同左	(講義) 操船シミュレータとは、コンピュータを利用して景観映像の生成、船体の運動計算、船橋内機器の作動等を行い、模擬的に船の操作を行う装置です。この講義では、操船シミュレーションを使って、船舶の運動を実際に見ながら操船がどのようなものであるかを体験的に理解します。 【海事科学部 臼井 英夫 助教授】 ・鉛筆（シャープペンシルでも可）と消しゴムを持参してください。
(午前及び午後) 「ものを操る－船のナビゲーション－」 海事科学部総合学術交流棟1階SCS室／同左	(講義及び実習) はじめに沿岸及び人工衛星(GPS)にて船の位置を求める基礎的な方法を概説し、次に海図を用いた位置決定の演習を行う。最後に、ナビゲーションシミュレーターによる擬似航海体験により、実際に船を航行させながら自分の位置を確認し、その後の自分の進むべき方向を決めてそれを実行する。 【海事科学部 河口 信義 教授、井川 晶裕 技術専門職員、福岡喜作 技術専門職員、野原 亘 技術専門職員、黒木 克典 技術員】

<p>⑩医学分野（見学） 『神戸市における救急医療の現状』（16名）</p>	<p>神戸市消防管制室、神戸市中央区消防署及び人と防災未来センターにおいて、神戸市における救急医療の現状を見学する。</p>
<p>⑪電気分野『10進1桁加算回路の製作』 工学部玄関／IN-311-1（9名）</p>	<p>ANDゲートなどの基本的なICと特定用途向けに造られたIC（例えば、エンコーダ：10進数を2進数に変換する）などを用いてA+B=(A、B一桁の10進数)を入力し、演算結果を7セグメントLEDに表示する回路を作成します。結線は、通常良く用いられている半田付けではなく、四角いICソケットの足の角にワイヤーを食い込ませ圧着するワイヤーラッピングという方法で行います。 【工学部電気電子工学科 山中 和彦 技術専門職員、 情報知能工学科 高木 由美 教務職員】</p>
<p>⑫農学分野（実習・施設見学） 『センターの酒米を使用した酒造りについて』（6名）</p>	<p>富久錦株式会社（加西市）において、センターの酒米を使用した酒造り現場を見学する。</p>
<p>⑬農学分野『食資源教育研究センター集合研修』 食資源教育研究センター／同左（13名）</p>	<p>講演、学外研修報告、技術発表、全体討議</p>